

January 2019

第30号

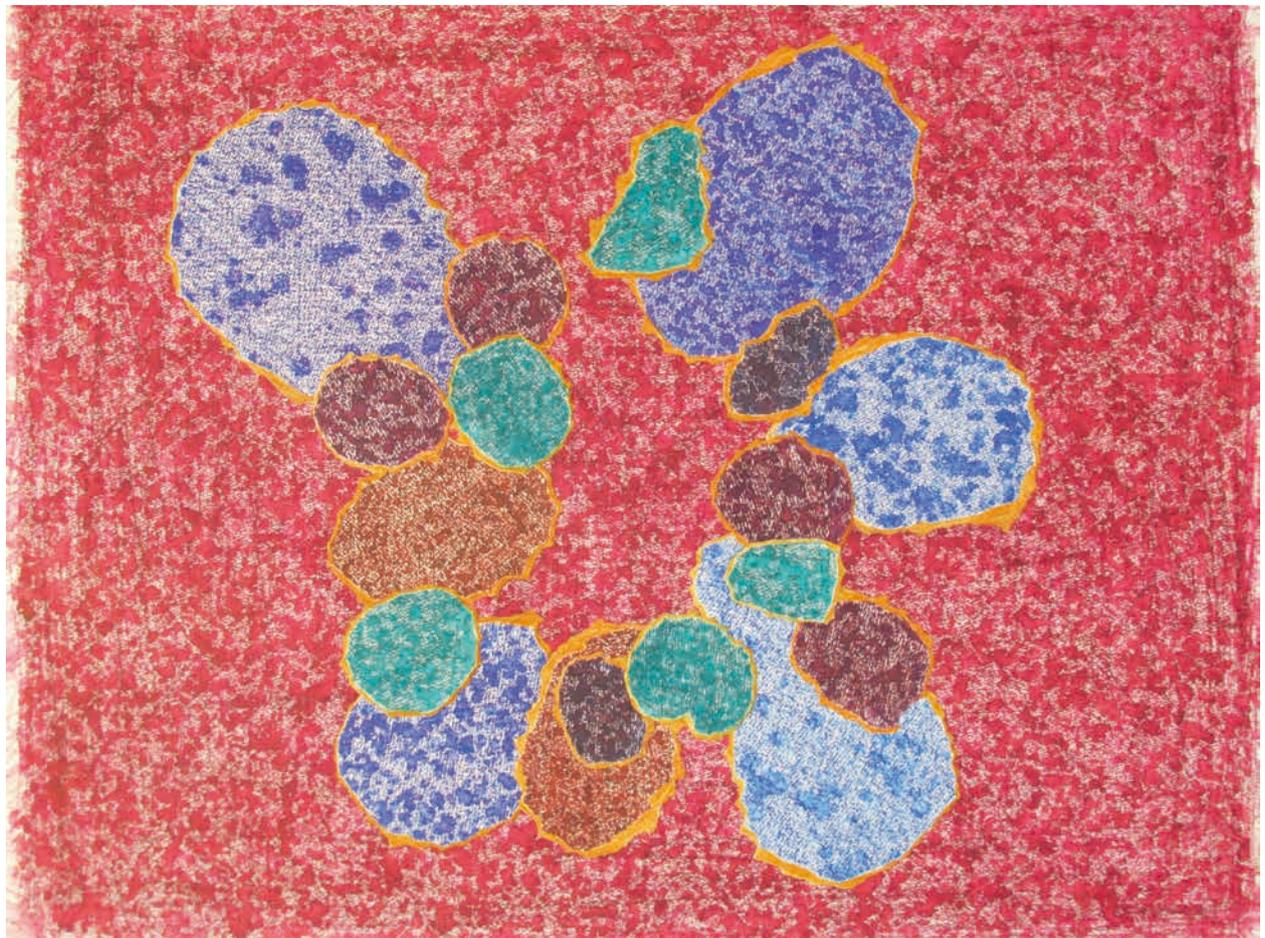
発行日平成31年1月1日

発行責任者 吉岡 宏幸

ふれあい

社会福祉法人

北海道宏栄社



「表題：環～雨の痕跡」
画：高橋 一文

もくじ

- 年頭のごあいさつ 2頁
- 基本理念のパネルとカードを作成しました 2頁
- 第72回市展教育長賞喜びの声 高橋一文さん 3頁
- 生活支援課が移動しました 3頁
- 2018年想いDEフォト 4～5頁
- 2018年自治会旅行 6～7頁
- 行事食・選択食・フェアメニュー 8頁
- リハビリ研修会を開催しました／施設見学・作業体験 9頁
- 北海道胆振東部地震について／土砂災害避難訓練を実施しました
寄贈／表彰 10頁
- 職員研修を実施しました／新利用者さんの紹介
表紙について／編集後記 11頁
- 各施設のご案内／宏栄社の所在地／施設の利用状況 12頁

ねんとう 年頭のごあいさつ

りじちょう よし むら かつ ゆき
理事長 吉村 克之



皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。
さて昨年の宏栄社を振り返りますと、嬉しい出来事としては4月に利用者さん1名が一般企業へ就職されたことが挙げられます。法人では、他の利用者さんからも後に続く方が現れるように、今年も就労移行支援に力を入れてまいります。

また、プロジェクト「経営改善会議」の活動により法人の「基本理念」と新たな「防災計画」が策定でき、利用者さんの権利擁護や防災対策の強化に向けて歩みだせたのも喜ばしいことでした。

一方、9月の北海道胆振東部地震によるブラックアウトでは、二日間、たいへんな不便を経験しましたので、今後の同規模の停電時に備えて必要物資を整備し、対応マニュアルを作成しました。

クリーニング事業では、ホテルリネンサプライ部門の上半期の売上が好調でした。ブラックアウト後に観光客の減少による影響がありましたが、冬季の回復を期待しているところです。施設利用者数は若干計画を下回っておりますので、地域へのアピールをしていきたいと思っております。

このほか、地域における公益的取組では、「社会福祉法人懇話会しあわせネットワーク・おたる」のなかで、生活困窮者への支援物資収集の取組を担当しました。虐待防止では、新たに1回6人規模の少人数研修をパートタイマーも含む全従業員に行い、福祉施設従業員としての意識を高めました。行事では、2年に一度の自治会旅行があり、層雲峡方面に楽しい二日間を過ごしてきました。施設見学では、小樽の双葉高等学校と北海道余市養護学校中部のみなさんにご越しいただきました。若い方の進路に少しでも参考にしてもらえたなら幸いです。

宏栄社では今年も利用者さんご家族のため、支援の充実に取り組んでまいります。今後とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

基本理念のパネルとカードを作成しました

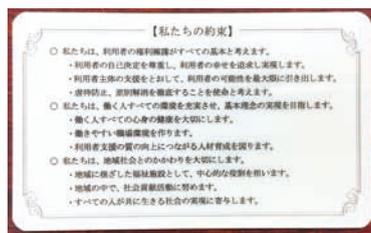
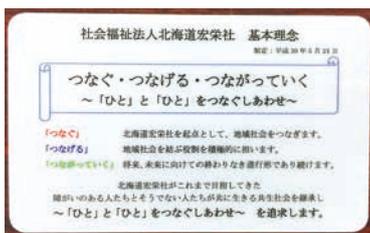
前号にて、基本理念が制定されたことを報告しましたが、さらに全従業員へ周知徹底するために、パネルとカードを作成しました。

パネルは正面玄関を入り、見やすいところに設置し、このほか各部署においても目にしやすい場所にプリントして掲示し、いつでもどの場所からでも「基本理念」が見やすいようにしております。

また、カードを全従業員に配布し、8月30日(木)に吉岡常務理事より訓示を行い、カードを携帯することで、仕事上の悩みや困り事があるときには、基本理念に立ち戻れるようにしました。

なお、10月からは月に一度、朝礼において「基本理念」と「私たちの約束」を復唱する取り組みも始めております。

社会福祉法人としての在り方や従業員としての在り方、地域とのかかわり方など様々な場面で基本理念を意識できるように取り組んでいきます。



カード

パネル

第72回市展 教育長賞 喜びの声 高橋一文さん

平成30年度小樽市で開催されました第72回市展にて教育長賞を受賞しました。初受賞おめでとうございます。

～高橋一文さんからひとこと～

「ぼくは、9回「市展」に出品していましたが、一度も受賞していませんでした。なので、受賞は、あまり期待はしていませんでした。ですが、教育長賞のハガキが届き、驚きと喜びを同時に感じました。

ぼくは、発想を優先して作るの、それが技術的に絵として認められ励みになりました。

そして、この「雨の軌跡」の技法は、ぼくも自然の一部としてふるまい作れる技法です。ぼくのやっと見つけた続けたい技法でした。それを後押ししてくれるかのような受賞でもありました。

また、ぼくは障がいから午前中しか元気に活動できない身体です。休みの日の午前中にコツコツ作り、4ヶ月くらいかかりました。この大変であった時間も報われた気がしました。」



受賞作品「雨の軌跡 2018 災害を思う」

生活支援課が移動しました

平成30年11月に生活支援課が1階の事務所から3階の新しい事務所に移動しました。

工場からも近くなり、利用者さんも気軽に立ち寄れますし、生活支援員もすぐに工場に行けるため、今まで以上に寄り添った支援ができるようになりました。



お気軽にお立ち寄りください！

(紙面担当／幡野佳寿子、梶谷怜史)

2018年 おも 想いでフォト

なつまつ
夏祭り 7/7



きょねん あめ なたまつ ことし みんな おも
去年は雨だった夏祭り。今年は皆の思い
が伝わったのか天候にも恵まれ、楽しい
夏祭りとなりました。



やきゅうかんせん
野球観戦 8/7



さっぽろ
札幌ドーム



こうえいしゃこんしんかい
宏栄社懇親会
9/29



ようやくひっき かい みなさま
要約筆記の会「えんぴつ」の皆様がボランティアで
手伝っていただきました。



ぼうねんかい
クリスマス忘年会 12/15



たつきゅうたいかい
卓球大会 7/16・札幌市

ほっかいどう かくち おこな ぜんどう き ぼ
北海道各地で行われた全道規模の
しょう しゃ たいかい さんか
障がい者スポーツ大会にも参加しました



たいかい
スポーツ大会

7/22・岩見沢市



たいかい ぎっほろし
フライングディスク大会 10/6・札幌市



たいかい
ボウリング大会

おたるし
10/21・小樽市



ことし ぜんせんしゅ だいひょう とうほうじん
今年、全選手の代表として当法人の
はせがわまさのり せんしゅせんせい
長谷川雅紀さんが選手宣誓をしました。

(紙面担当／松本宏樹、幡野佳寿子)

2018年 自治会旅行

平成30年6月23日(土)から24日(日)
 今回の旅行先は層雲峡です。旭山動物園
 入所・通所の利用者のみなさん、職員

主なスケジュール

- 1日目
 9:00 宏栄社出発
 ↓
 11:30 昼食 砂川ハイウェイオアシス
 ↓
 2台のバスに分かれて移動
 旭山動物園 or 科学館サイバル
 ↓
 層雲閣グランドホテル 到着
- 2日目
 9:00 層雲閣グランドホテル 出発
 ↓
 9:10 黒岳ロープウェイで山頂へ
 ↓
 11:15 男山酒造 見学
 ↓
 12:30 昼食 ホテルクレセント旭川
 ↓
 16:30 宏栄社 到着



砂川ハイウェイオアシスで昼食



北海道名物といえば…?
 「ジンギスカン」でしょ!



おたる小樽

あさひかわ旭川

1日目



宏栄社 出発



待てきます

アザランが
 円柱水槽を
 通っています



2日目



層雲閣グランドホテル
 出発

黒岳山頂にて記念写真



展望台にて

にってい ほっかいどうこうえいしゃじち かいりょう かいさい
 の日程で、北海道宏栄社自治会旅行を開催しました。
 えん かがくかん おとこやましゆぞう くらだけ い
 園、科学館サイパルや男山酒造、黒岳ロープウェイに行ってきました。
 あ めい さんが
 合わせて73名が参加しました。

どうぶつえん い かがくかん
 動物園行きと科学館
 い どう
 行きに分かれて移動

かがくかんほうめん
 科学館方面

どうぶつえんほうめん
 動物園方面

たの
 楽しみ

む
 ホテルへ向けて
 しゅっぱつ
 出発

まわ
 ぐるぐる回ってます。
 め
 目が回りそう…

きょだい
 巨大シャボン

そうらんかく どうちやく
 層雲閣グランドホテル 到着

おんせん はい つか からだ
 温泉に入り、疲れた体を
 リフレッシュ

にもつせいり
 荷物整理も
 わす
 忘れずに！

にちめしゅうりょう
 1日目終了

あさひかわ ちゅうしょく
 ホテル・クレセント旭川で昼食

まくの うちべんとう
 幕ノ内弁当を
 た
 食べました！

いただきます！

みやげ たくさん
 お土産を沢山
 か
 買いました！

ただいま！

こうえいしゃ どうちやく
 宏栄社 到着

行事食・選択食・フェアメニュー

行事食

4月行事食（お花見）



- ・三色おにぎり
- ・アスパラの肉焼き
- ・桜のロールケーキ
- ・かぶら汁
- ・春の炊き合わせ

7月行事食（祭り）



- ・ちらし寿司
- ・鶏肉のグリル梅ソースかけ
- ・夏野菜の煮浸し
- ・すいかのロールケーキ
- ・すまし汁（素麺・縮さや）
- ・うめソース
- ・にびた

10月行事食（紅葉）



- ・松茸ごはん
- ・鮭フライ
- ・フルーツ（柿）
- ・お吸い物
- ・春菊ごまあえ
- ・かき

☆もともと家族の健康や幸せを祈る意味を持つ行事食ですが、元旦のおせち料理に始まり、年末の年越し弁当まで、毎月様々な行事食を取り入れて、利用者さんに楽しんでいただいています。

選択食

平成30年第1回選択食



☆あなたはどっちを選
んで食べますか？
☆年に2回、2種類の
献立（主菜）の中で、
食べたい方を選択して
もらい提供しています。



オムハンバーグカレー



ボルガライス



フェアメニュー



☆スープカレー



☆ホワイトオムライス



☆鴨めしと揚げ出し玉子

「フェア」の語源はラテン語で「休日」。休日に開かれる市などを表現する言葉で見本市や博覧会といった意味で使われており、そのイベント時に提供するメニューのことをフェアメニューと呼んでいます。

宏栄社でも行事食とは別に、フェアメニューを提供しています。

北海道宏栄社では、毎月給食運営会議にて行事食・選択食・フェアメニューの話し合いを行い、利用者さんの意見を取り入れて、楽しめる給食を提供しています。

リハビリ研修会を開催しました

平成30年9月20日に施設で生活している利用者さんを対象に健康の維持を目的としたリハビリ研修会を行いました。

医療法人ひまわり札幌病院から理学療法士の高羅先生、中黒先生、亀井先生が講師として来てくださいました。

最初は「健康に過ごすために～加齢と転倒」をテーマとして、加齢による筋力低下や転倒が起こる原因と対策について話をさせていただきました。その後、みんなで体操を行いました。講師の皆さんありがとうございました。是非また教えてください！



フレイルや
ロコモなどの
専門知識も
わかりやすく
教えてくださいました！



からだ 頭も使う
体操でした！
間違いながらも
楽しくできました！

※フレイル…加齢とともに運動機能や認知機能が低下してきた状態

※ロコモ……運動機能が低下し、要介護や寝たきりになる危険が高い状態

施設見学・作業体験

双葉高等学校 (平成30年11月8日)



双葉高等学校の生徒さんと先生方の合計18名が見学と作業体験を目的に来所しました。

最初に当施設の概要を説明し、4つのグループに分かれて作業場の見学と作業体験を行いました。生徒さんたちは一生懸命取り組んでいました。最後に生徒さんから作業体験の感想を聞いたところ、皆さん福祉の理解を深めることができたと話をしていました。



※見学希望の方はご連絡ください。

北海道余市養護学校 中学部 (平成30年11月9日)



北海道余市養護学校中学部の生徒さんと先生方の合計22名が将来の生活や進路について考える機会となることを目的として来所しました。皆さん真剣なまなざしで見学をしていました。

(紙面担当/丸山勝大)

ほっかいどういぶりとうぶじしん 北海道胆振東部地震について

9月6日の北海道胆振東部地震の時は、北海道宏栄社も二日間
停電になりました。

一番困ったのは、水の確保でした。近くの株式会社クリーンサー
ビスさん、小樽市消防訓練所市民消防防災研修センターさんに水を
分けてもらい職員総出で対応をして、乗り越えることができました。

また、停電2日目には、小樽市水道局さんに給水していただきました。

震災後は、防災管理委員会を開催し、今回の地震対応について振り返り、必要な物資を購入し、
今後に向けての対応を行いました。

この度の震災につきまして、各方面からのご支援に対して、あらためて感謝申し上げます。



給水車から水をもらう様子

どしゃさいがいひなんくんれん じっし 土砂災害避難訓練を実施しました

小樽市役所の災害対策室の方や、小樽市消防本部の方たちのご協力のもと、11月29日（木）に当
法人として初めて土砂災害時の避難訓練を実施しました。

宏栄社は建物の裏手が山の斜面になっているので、土砂災害警戒区域に指定されています。今回は、
建物裏手の山の斜面が崩れたことを想定して、3階へ避難する訓練を行いました。また、避難訓練を
実施した後は、次回の訓練はさらにスムーズな避難ができるように、みんなで話し合いました。



き ぞう 寄 贈

昨年寄贈いただいた方々をご紹介します。

本当にありがとうございました。

- 株式会社北海道日本ハムファイターズ 様
観戦チケット 18枚
- 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 様
清涼飲料水 9ケース
- 株式会社かま栄 様
ちくわ 160本
- 日本中国料理協会小樽支部 様
シューマイ 120個

ひょう しょう 表 彰

- 札幌更生保護協会 様
更生保護事業の進展に貢献したことにに対する感謝状
- 日本赤十字社北海道支部 様
献血の協力に対する感謝状



職員研修を実施しました



あんぜんうんてんけんしゅう
安全運転研修 2018/11/15
 講師：久保栄二氏 (小樽市警察署交通第一課企画係長)



ぎゃくたい ぼうし けんしゅう
虐待防止研修 2018/11/2~12/19(全16回)
 講師：吉岡宏幸 (常務理事)



ぎゃくたい ぼうし でんたつけんしゅう
虐待防止伝達研修 2018/12/6,7
 報告者：梶谷怜史 (生活支援課主任)

このほか、2018年9月13日に株式会社吉岡経営センターコンサルティング部課長 近藤日出男氏を講師にお招きし、コミュニケーション研修を実施しました。



新利用者さんの紹介

せきもと けいほん
関本 裕也さん
 所属 北海道宏栄社 (入所)

ほんま かずき
本間 一輝さん
 所属 北海道宏栄社 (入所)

わたなべ しんじ
渡邊 信司さん
 所属 宏栄セルフ (通所)

すずき ゆうき
鈴木 勇輝さん
 所属 宏栄セルフ (通所)

表紙について

【作者紹介】

- 小樽市出身
- 現在宏栄セルフを利用
- ・2018年「THEY展」(市立小樽美術館、市民ギャラリー)
- ・2018年第72回市展 教育長賞 (市立小樽美術館)
- ・2018年第93回道展入選 (札幌市民ギャラリー)

【作品紹介】

作品名「環～雨の痕跡」
 絵の中の粒々の模様は天然の雨粒の痕です。
 雨粒の痕の作り方は、水彩色鉛筆を塗った画用紙を雨の中で地面に置き、ちょうどいい頃に家の中に入れ乾かし作ります。
 今回の作品は様々な雨の痕跡を組み合わせ糊付けしました。
 雨は自然の中を循環しますし、環のように形作りしました。



たかはし かずふみ
 高橋 一文さん

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。
 ふれあいをご覧の皆様も、よい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。
 平成30年もあっという間の一年でした。様々な出来事の中で、特に29号で特集を組んだ「基本理念」の制定は、その実現のために、福祉施設の職員として、まだまだ努力を重ねなければならないことを実感しました。
 ふれあい第30号は、恒例の「想いDEフォト」や隔年で開催している「自治会旅行」、そして、一番うれしかったのは、利用者さんの美術市展入賞です。もちろん、この他にも盛りだくさんの話題でいっぱいです。
 新年を迎えて、皆様にとって良い年であることを祈念するとともに、ふれあいをお届けします。

へんしゅうちょう たけだまもる
 (編集長 武田守)

(紙面担当/武田守、高田栄一郎、梶谷怜史)

各施設のご案内



しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人
〒047-0011

ほっかいどうこうえいしゃ
北海道宏栄社
おたるしてんじん ちやうめ ばん ごう
小樽市天神2丁目8番2号



でんわだいひょう
電話代表 0134-25-1551 FAX 0134-29-3284

えいぎょうちやくつう
営業直通 0134-31-5625 FAX 0134-33-3178

ホームページ <http://www.koueisyua.or.jp/> メールアドレス selp@koueisyua.or.jp

(営業時間) ■平日 8:40~17:00 ■土曜 8:40~14:50 (定休日) 日曜、元日

障害者支援施設

北海道宏栄社

しょうがいのある方に、施設入所支援を提供しながら、日中活動の場として生活介護事業を提供する施設です。

●施設入所支援事業

快適な寮生活を提供します。施設内はバリアフリーで居室はすべて個室です。入浴や食事も提供します。

●生活介護事業

日中活動の場として、軽作業等の生産活動の機会を提供します。希望に応じて食事の提供も可能です。

相談支援事業所

あおば

在宅の障がいのある方の生活上の困りごとや障がいについての質問、福祉サービスの利用について相談を受ける事業所です。

●一般相談支援事業

施設や病院を出て、地域で暮らすための地域移行支援・地域定着支援を行っています。

●特定相談支援事業

●障害児相談支援事業

障がいのある方や児童に対して、障害福祉サービスを利用するための計画の作成や、一定期間ごとに評価(検証)を行い、計画の見直しやサービスの調整を行います。

TEL 0134-27-4722 FAX 0134-33-1131
メールアドレス aoba@koueisyua.or.jp

障害福祉サービス事業

宏栄セルブ

障がいのある方に、自宅などから通っていただき、就労に向けてのサービスを提供する施設です。

●就労移行支援事業

一般の会社に就労を希望する方に、おおよそ2年間、施設内での作業訓練や事業所での実習を行うサービスです。

●就労継続支援A型事業

障がい理由で一般就労が困難な65歳未満の方に、施設との雇用契約に基づく就労支援を提供するサービスです。

●就労継続支援B型事業

一般就労が困難な方に雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

●生活困窮者就労訓練事業

就労に困難を抱えた方に状況に応じた就労の機会を提供し、生活面や健康面での支援を行います。

福祉ホーム

宏栄社福祉ホーム

(居室数14室)

障がいのある方にバリアフリー対応の居室を提供します。
Aタイプ(42.24㎡)とBタイプ(28.8㎡)があります。

TEL 0134-24-7551

宏栄社の所在地



施設の利用状況

(平成30年12月1日現在)

区分	定員	利用者数		
		男性	女性	合計
北海道宏栄社(入所)	54	42	8	50
施設入所支援 生活介護				
宏栄セルブ(通所)	10	3	1	4
就労移行支援	10	9	1	10
就労継続支援A型				
就労継続支援B型	40	35	11	46

区分	居室数	利用中	空室
宏栄社	Aタイプ	6室(12名)	6室
福祉ホーム	Bタイプ	8室(8名)	7室
			1室

※各施設をご利用希望の方は、お問い合わせください。